

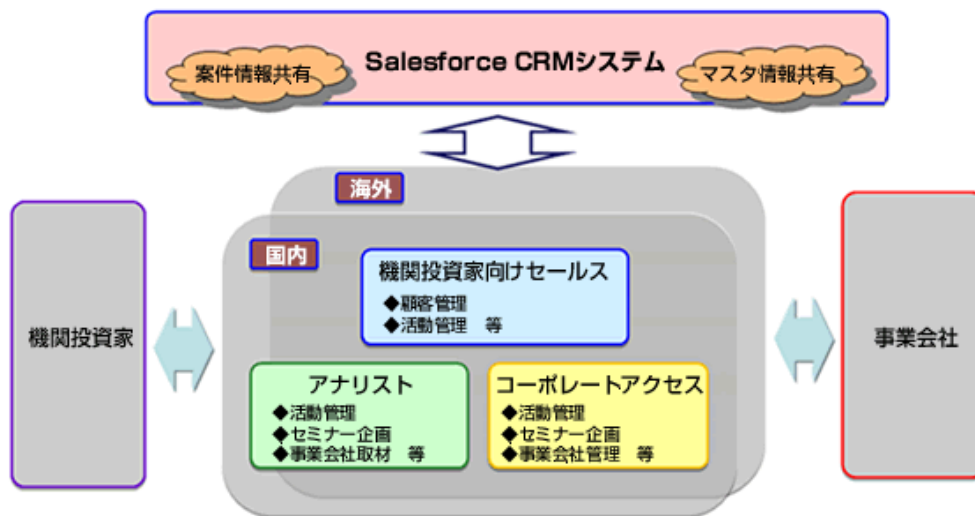
キヤノンITソリューションズが大和証券キャピタル・マーケットの営業情報共有システムを構築
～クラウドにより世界主要拠点で共同利用、グローバル・ネットワークの更なる強化へ～

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:浅田 和則、以下キヤノンITS)は、大和証券キャピタル・マーケット株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:日比野 隆司、以下大和証券CM)の営業情報共有システムを、株式会社セールスフォース・ドットコム(本社:東京都港区、代表取締役:宇陀 栄次、以下セールスフォース・ドットコム)のクラウド開発プラットフォーム「Force.com」で構築しました。本システムは2011年3月より全機能が稼動し、機関投資家向けセールス、CA(コーポレートアクセス)、アナリストなど約800名、計8カ国(日本、香港、シンガポール、ロンドン、ニューヨーク、他)で利用されています。

大和証券CMは、日本を代表する独立系総合証券グループである大和証券グループにおいて、法人・機関投資家のお客さま向けの資金運用や投資銀行業務などのホールセール・ビジネスを担当し、国内3拠点及び20の国と地域に展開するグローバル企業です。さらに一層のグローバル・ネットワーク強化を目指す同社において、各拠点営業情報の管理・共有は重要なテーマとなっていました。また、従来の営業支援システムのメンテナンスビリティ向上と運用コスト見直しも急務でした。これらの課題を解決するために、従来のシステムのメリットを活かしつつ、グローバルで利用可能なセールスフォース社のForce.comが採用されました。キヤノンITSは「Salesforce CRM」の利用者としてのノウハウと、さまざまな企業への導入実績を活かし、約5ヶ月で構築を完了させました。3月には全機能が稼動し、利用者数、利用拠点も拡大しています。

■ 提供サービスの概要

- ・ 機関投資家様向けのセミナーや事業会社様への訪問、取材等を案件として共有し、参加者アレンジやスケジュール登録・レポートを支援する案件管理サービス
- ・ 機関投資家様向け各種レポート類の送付業務を支援する配信管理サービス
- ・ セールスからアナリストへの各種依頼業務を支援するアナリストへの依頼サービス



■ 大和証券CMのSalesforce CRM採用のポイント

- ・ 各拠点ごとの営業情報のリアルタイムな管理が可能
- ・ ISO27001、SAS70 Type II、SysTrustなどの国際基準に対応する高いセキュリティレベル
- ・ 初期投資不要、メンテナンス不要で、導入および運用コストを大幅に削減可能
- ・ Salesforce CRMの基盤であるForce.comプラットフォームの高いカスタマイズ性により開発期間およびコストを大幅に短縮可能
- ・ 多言語対応で、グローバル利用の場合も短期間で導入可能
- ・ 現在、全世界92,300社での導入実績

■ キヤノンITSのセールスフォース・ドットコムの取り組み

キヤノンマーケティングジャパン(以下、キヤノンMJ)グループは、2002年にセールスフォース・ドットコム(salesforce.com)の代理店契約を締結し、自らも国内の営業員を中心に約6,000名が「Salesforce CRM」を活用しています。そこで得られたノウハウを強みに、現在までに延べ70社(※)を超えるお客さまに、利用ライセンス販売と導入・構築支援を行ってきました。

キヤノンITSは、キヤノンMJ ITグループの中核企業として、セールスフォース・ドットコム関連ビジネスを積極的に推進しており、特に証券・銀行などの金融機関に対してはアジアを中心とするグローバル強化の動きが強まり、同様のニーズが見込まれることから金融機関向けに3年間で10億円の売上目標を掲げています。

※記載に誤りがありましたので訂正いたしました。【(誤)700社 → (正)70社】(2011年6月6日)

■ 大和証券キャピタル・マーケット株式会社 会社概要

社名	大和証券キャピタル・マーケット株式会社
代表者	代表取締役社長 日比野 隆司
本社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウ ノースタワー
URL	http://www.jp.daiwaacm.com/
資本金	2,557億円
拠点	国内3拠点(本店/大阪支店/名古屋支店)、海外21拠点
事業内容	有価証券等の売買、有価証券等の売買の媒介、取次又は代理、有価証券の引受等の証券業及びそれに付帯する事業